

当たり前前のごとを 当たり前前にできる姿

平成31年3月3日、第71回卒業式。347名の生徒の皆様、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございます。

中入生にとっての6年間、そして高入生にとっての3年間、成立学園での学校生活はどのようなものだったでしょうか。

私にとってのこの3年間は振り返ると、高校1年生の時はA組(アスリート)の担任として、高校2・3年生の時は担任という立場を離れ、皆さんと接してきました。

高校2年生で行った修学旅行は例年になく天候に左右されました。私が引率した北海道は全行程、快適な天候のもと、大自然に触れ合い、たく



さんの体験をすることができました。梅雨のない北海道でも私の知る限り、これほど雨が降らず快晴に恵まれたことはありません。きつと皆さんの日頃の行いが良かったのでしょう。皆さんと同行していると、地元の方々から様々な声をいただきます。例えばホテルでの食事会場では、バイキングスタイルなので、それぞれの立ち振る舞いをスタッフの方々が見ているよう、お皿に食べ残しをしないことや、片付けのしやすいようにお皿をまとめたりという当たり前のことを当たり前にできる姿を褒められることが幾度となくありました。私自身もそのようなお褒めの言葉をい

ただくと、誇らしく嬉しく思います。一方、沖縄(与論島)は台風の影響を全行程で受け、予定していたスケジュールの約8割を変更せざるをえなくなりました。マリンスポーツなどをしたのがこそ沖縄を選んだにもかかわらず、それが叶うことなく変更された状況に腐ることなく、その中で楽しんでいけた姿。引率した現校長・福田先生を初め、全教員が一同に褒めていました。そして、アスリートクラスは、各大会などの都合で時期をずらして2月に台湾へ行きました。この時期はインフルエンザも流行し、途中で体調を崩す生徒が出てしまいました。全員で最後まで参加できなかったことは残念ですが、異国の文化に触れているという思いを胸にしたことでしょうか。

高校2年生の成立祭では、「THE SG WORLD」という1つのテーマのもと、諸外国のフードを展開し、好評でした。飲食スペースとして使われる生徒ホールの装飾は、おもてなしの心から万国旗などで明るく楽しい雰囲気を作り出しました。皆が率先して良いものを作り上げてい

こうという気持ちも伝わりました。

高校3年生の鷲宮祭の位置づけは、これから受験に向けて最後の行事となる区切りです。

クラスが一丸となって取り組む「障害物リレー」は、最終走者がコスチュームに着替え、クラス旗を持って走ります。この鷲宮祭の写真は、どのクラスもお気に入り、長く掲示されていました。

成立学園を巣立っていく皆さん、これからそれぞれの進路に踏み出す時、当たり前前のごとを当たり前前にできる、それはすなわち、しっかりと挨拶をするといった、人としての礎を大切にしたいです。皆さんの当たり前前になっている挨拶は、折に触れ褒められているのです。是非、続けていってください。そして、成立学園を思い出し、私達に顔を見せて下さい。いつでも成立学園で待っています。ありがとうございます。



第3学年 主任
社会科
増田 士郎

千葉県内の車庫証明と自動車登録
千葉県行政書士会会員(登録05102025号)
自動車を保有したり、
貨物や人を運送する事業を始めるには、
許可等々の申請手続きが必要です。

頼れる専門家・行政書士に
おまかせください。

行政書士 倉橋 昭治(昭和37年卒)

くらはし行政書士事務所

〒273-0045 千葉県船橋市山手1-1-3-1417
TEL:047-435-1585/FAX:047-434-9540

